

芸術学部 音楽学科

教育目標

1. 西洋音楽に関わる演奏・創作・教育・研究の多様な分野において、北海道ひいては我が国の音楽文化の発展を担う人材を育成する。
2. 演奏技能教育のみならず専門教養教育を重視し、音楽文化の普遍的価値に対する深い造詣をもった音楽家、教育者、研究者などを育成する。

アドミッション・ポリシー

1 大学教育を通じて発展・向上させる能力

芸術学部音楽学科では、北海道における4年制の高等教育研究機関として、創作・教育・研究・応用に関わる幅広い学びの分野を設け、将来は、音楽を通して幅広く社会貢献できる人材の育成をめざしています。そのために本学科では、西洋音楽の伝統を通して培われた専門的な技術と知識を修得するとともに、さまざまな合奏・アンサンブル・集団セッションや美術学科との共同制作を通して、創造的なコミュニケーション能力と協働性を発展させます。さらに、これらの知識と技術が生きた経験に結びつくように、外部での発表や実習の機会を通して専門的な能力を活用し、さまざまなニーズに応じて社会に貢献できる能力を向上させます。

2 入学者に求める能力

【知識・技能】

- ・レベルの高低やジャンルの別を問わず、音楽活動に必要な基礎的な知識と技術を有していること。
- ・音楽を通じた社会貢献の意義を理解するために、高等学校での幅広い学習内容を習得していること。

【思考力・判断力・表現力】

- ・現代の社会や文化のなかで音楽が果たすべき役割や意義について関心をもち、自分自身が果たすことのできる課題を考え、演奏・創作・発表等の方法で表現できること。

【主体性・多様性・協働性】

- ・合奏・合唱等の音楽の団体活動やボランティア活動の経験を有し、多様な価値観や視点をもつ人々との協働による音楽活動の意義を理解し、積極的に参加する意欲を有していること。

1. 音楽学科共通注意事項

選抜方法及び内容については、状況により変更となる場合があります。
変更事項が発生した場合は、本学ホームページ「受験生へのお知らせ」にて公表しますので、
必ずご確認ください。

1. 声楽試験の伴奏譜は出願書類と共に提出してください。伴奏は本学講師が担当します。
2. 実技試験前に練習時間があります（詳細はスケジュール説明時にお知らせします）。
3. 楽器の使用について
 - (1) コントラバス、ハープ及び小太鼓については、本学の楽器または自己所有の楽器のいずれかで受験できます。本学の楽器を使用する場合は受験曲票の「大学楽器利用」欄を「1. する」としてください。
 - (2) その他、ピアノ・電子オルガン・マリンバ・ティンパニは本学の楽器を使用します。それ以外の楽器で受験の方は、各自お持ちください。
4. 練習室の利用について（要事前申込）

以下の日程で練習室の利用ができます。希望者は入学願書の「練習室利用」欄の「利用する」にマークしてください。

希望者多数の場合は、宿泊を伴う受験生を優先いたしますので、札幌及び近郊の受験生は利用できない場合があります。

利用日時 2022年11月18日（金） 15：00～16：00 [14：50 正面玄関ロビー集合]

2. 編入学・転入学選抜（3年次）

出願資格

◆編入学

次のいずれかに該当する者

1. 大学又は短期大学を卒業した者及び2023年3月までに卒業見込みの者
2. 大学に2年以上在学し、62単位以上修得した者
3. 高等専門学校を卒業した者及び2023年3月までに卒業見込みの者
4. 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上で、文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）を修了した者及び2023年3月までに修了見込みの者

◆転入学

大学に2年以上在学し、2023年3月までに62単位以上修得する見込みの者

日 程

出願期間	2022年11月1日（火）～11月7日（月）必着 ※窓口での受付は出願期間の最終日のみ行います（9：00～16：00）。
試験日時	【1日目】2022年11月19日（土）実技試験 8：45集合・スケジュール説明 【2日目】2022年11月20日（日）視唱、面接 8：45集合
合格発表	2022年12月2日（金）
入学手続	2023年1月19日（木）必着

出願書類

出願書類	注意事項
封筒	市販の角2封筒を各自準備。本学所定様式「封筒貼付用宛名ラベル」を使用し、封筒に貼付のうえ、以下の出願書類を簡易書留により提出してください。
入学願書	本学所定の用紙を使用。
入学検定料等納付書	30,344円（受験票発送料を含む）を本学所定の用紙でゆうちょ銀行又は郵便局で払込のうえ、「振替払込受付証明書（お客様用）」を入学願書に貼付してください。
成績証明書	出身学校の長が作成し、厳封されたもの。
在学証明書または卒業（見込）証明書	出身学校の長が作成し、厳封されたもの。札幌大谷高校及び道内大谷派関係高校の卒業生は、高等学校の卒業証明書をあわせて提出してください。
受験曲票	本学所定の用紙を使用。（音楽総合コースは除く）
課題提出票	本学所定の用紙を使用。（音楽総合コースのみ）
指導者調査票	本学所定の用紙を使用。
伴奏譜	声楽試験がある者のみ提出してください。片面印刷で、製本した状態で提出。
提出作品	作曲・サウンドクリエーションコースのみ。p.8「コース別課題」欄参照。
健康診断書	身体に障がい有するなど、受験上及び修学上特別な配慮が必要とされる場合は、出願前に入試広報課へ相談のうえ提出してください。

試験科目・配点

科目	配点	備考
視唱	100点	楽譜を出願者に事前送付
コース別課題	100点	
面接	100点	10分

3. 単位の認定について

合格者は、他の大学等で修得した単位について、60単位を上限として認定します。

教員免許（高等学校教諭一種（音楽）・中学校教諭一種（音楽））取得希望者は、中学校教諭二種免許（音楽）の取得者に限り2年間で取得可能です。

それ以外の取得希望者は別途、入試広報課までお問合せください。

4. 特待生試験について

合格後に別途申込が必要です。希望する方は、一般選抜Ⅰ期の出願期間と同じ期間に申込みしてください。（音楽学科音楽総合コースは特待生試験の対象外です。）詳細は、学生募集要項 P.43～45をご確認ください。

<https://www.sapporo-otani.ac.jp/departments/music/admission/>



コース別課題

(1) ピアノコース

以下の①②を全て演奏する。演奏は暗譜とする。

- ピアノ** ① J.S. バッハ「平均律ピアノ曲集第1巻、第2巻」より1曲（プレリュード及びフーガ）
② 10分以上15分以内の自由曲1曲。

(2) 声楽コース

声 楽 自由曲1曲を暗譜で演奏する。ただし歌曲、あるいはオペラ・アリア（オラトリオを含む）とする。歌詞は訳詞ではなく原語とする。また、オペラ・アリア（オラトリオを含む）を演奏する場合は原調とする。

(3) 管弦打楽コース

◆管楽器

1. **音階** スラーまたはタンギングで演奏する。アーテュキレーション、調は当日指定。暗譜とする。
譜例は、「学生募集要項 2023 年度」の学校推薦型選抜・一般選抜〈I 期・II 期〉・特別選抜のものを参照すること。なお、以下の楽器は指定された楽譜より演奏する。
 - ・フルート : アルテスフルート教則本第2巻（日本フルートクラブ刊）
 - ・クラリネット : Rolf Eichler : Scales for Clarinet（国立音楽大学出版）
 - ・サクソフォーン : 須川展也 : サクソフォーントレーニングブック（音楽之友社）
2. **課題** 「学生募集要項 2023 年度」の学校推薦型選抜・一般選抜〈I 期・II 期〉・特別選抜と同じとする。

◆弦楽器

1. **音階** 下記の方法を用い演奏する。調は当日指定。暗譜とする。
譜例は、「学生募集要項 2023 年度」の学校推薦型選抜・一般選抜〈I 期・II 期〉・特別選抜のものを参照すること。
 - ・ヴァイオリン : 下記の①または②のいずれかを演奏する。調は当日指定。暗譜とする。
 - ① 3 オクターブの音階と分散和音。フリマリー音階教本（全音楽譜出版社）、小野アンナのヴァイオリン音階教本（音楽之友社）から選択すること。
 - ② カール・フレッシュのスケールシステムから演奏する。演奏箇所はすべての調において、5 番の最初の 12 小節。スラーの付け方は C - dur に準ずる。
 - ・ヴィオラ : カール・フレッシュのスケールシステムから演奏する。調は当日指定。暗譜とする。演奏箇所はすべての調において、5 番の最初の 12 小節。スラーの付け方は C - dur に準ずる。
 - ・チェロ : 3 オクターブ演奏する。調は当日指定。暗譜とする。
 - ・コントラバス : 2 オクターブ演奏する。調は当日指定。暗譜とする。
 - ・クラシックギター : 譜例に従い演奏する。（⑥の弦から①の弦までを使う。開放弦は使用しない）。暗譜とする。
 - ・ハープ : Larivere の Exercices から No.13.14 を演奏する。
2. **課題** 「学生募集要項 2023 年度」の学校推薦型選抜・一般選抜〈I 期・II 期〉・特別選抜と同じとする。

◆打楽器

自由曲1曲を演奏する。演奏は暗譜とする。繰り返しはしない。

(4) 電子オルガンコース

電子オルガン ※ 使用機種は YAMAHA ELS - 02C とする。
自編曲1曲。曲のジャンルを問わず、自由とする。
演奏は暗譜とする。繰り返しはしない。
MDR の使用範囲はレジストレーションデータの再生のみ。XG 音源は一切使用できない。

(5) 作曲・サウンドクリエーションコース

1. 提出作品（譜面または音源）

※音源のファイル形式は拡張子が「.wav」「.WAV」「.aiff」「.aif」「.aifc」「.afc」のいずれか。
録音メディアはCD-RまたはUSBメモリとし、メディアは返却しない。

2. 8小節程度の旋律にピアノパートを付ける（60分。楽器使用可）。

3. ピアノ 以下の①②を暗譜で演奏する。

- ① J.S. バッハ：「2声のインヴェンション」「3声のシンフォニア」「平均律ピアノ曲集第1巻、第2巻」より任意の1曲
- ② 古典派のソナタから任意の1曲

(6) 音楽総合コース

次のうち、1または2のいずれかを選択する。

1. 実技：以下のA～C群からひとつを選択し、演奏する。

〈A群〉1. ピアノ 15分以内の自由曲1曲。演奏は暗譜とする。

2. 声楽 自由曲1曲を演奏する。演奏は暗譜とし、歌詞は訳詞ではなく原語とする。

〈B群〉1. 管弦打楽器 10分程度の自由曲1曲を演奏する。

2. ピアノ 古典派のソナタからひとつの楽章（緩徐楽章は除く）を演奏する。演奏は暗譜とする。

〈C群〉1. 声楽 自由曲1曲を演奏する。演奏は暗譜とし、歌詞は訳詞ではなく原語とする。

2. ピアノ 古典派のソナタからひとつの楽章（緩徐楽章は除く）を演奏する。演奏は暗譜とする。

2. 課題：次の①～③の問題から一つ選択し、1)、2)を実施する。

① 北海道の現状を踏まえ、現代社会の抱える様々な課題（過疎化、高齢化、自然災害、孤立化等）に対して、音楽がどのように関わってきたか。

② 演奏会制度（コンサート）に縛られない、新しい音楽の伝え方。

③ 音楽による生涯教育について。

※ 生涯教育とは、生涯にわたって学習活動が続けるべきだとする教育のことであり、地域の学習の場で音楽の楽しさを教えたり、音楽活動を支援したりすること。

1) 現代社会のなかで行われている様々な音楽活動からいくつかの実例を調べ発表する。

2) 自分ならどのような企画が考えられるかを考え、プレゼンテーションする。

※ 1：音楽のジャンルやプロ・アマの区別は問わない。

※ 2：企画には音楽以外の要素（ダンス、演劇、絵画等）が含まれても良い。

（注意事項）

・プレゼンテーションの方法を「課題提出票」に明記すること。

（①パワーポイントを使用・②紙媒体を使用・③その他）

・パワーポイントを使用する際、PCを持参するか、USBメモリを持参すること。なお、USBメモリを持参する際は、windows 10に対応できる方式にしておくこと。

・当日、プレゼンテーション資料として紙媒体のレジュメを2部用意すること。